

令和4年度 学校評価表（第3回用）

学校教育目標		重点目標（中・長期的目標）		
1 学び究めようとする心の涵養に努める 2 よき社会人になるための人間性の陶冶を促す 3 心身共に活力のみなぎる生徒を育む 4 生命を尊び人権を尊重する心を培う	1 基礎学力を身につける 社会で生きていくための基礎的な知識を、座学だけでなく体験的な課題追究型学習を通して身につくようにする 2 社会性を身につける 基本的な生活習慣や社会のルールを、学校生活や就労を通して会得できるようにする。また学校行事・生徒会活動などを通じて、友人との協力・共同を培い、友情を深めることができるようにする 3 自主性を高め、自己表現を豊かにする 総合的な学習（探究）の時間や生徒会活動・学校行事などを通して、思考力・表現力を養い、意欲・成就感が得られるように努め、自信を持って歩めるようにする。また自分の将来を見つめながら自己啓発につながる進路指導に配慮するとともに、芸術鑑賞などを通して豊かな情操感を培うように配慮する			
	今年度の重点目標			
		1 いじめや暴力を許さない安全・安心な学校づくりを進める 2 基本的な生活習慣の確立、規範意識の向上を目指し、きめ細やかな生徒指導や支援を行う 3 対話的な授業を通して、生徒の学習意欲を引き出し、基礎学力の定着とコミュニケーション能力の育成を図る 4 勤労観・職業観の形成を促すとともに生徒個々に応じた支援を行い、進路に対する意識を高めていく		
評価項目	評価の観点	成果と課題	達成度	改善策・向上策
1 教育課程の検討	① 生徒の実態に合った教育課程を研究し、更なる検討がなされたか	① 生徒の実態に合わせた新教育課程の検証を行った。	B	① 生徒の実態にあった教育課程を継続審議する。
2 授業の充実	① 少人数での授業や個別指導により、学力の多様化に有効な対応がなされたか ② ICT機器の活用を含め、生徒の学習意欲を引き出し、生徒の主体的な授業がなされたか ③ 表現力、コミュニケーション能力等、社会で必要とされる力を伸ばす授業がなされたか ④ 特別な支援が必要な場合について、授業方法等に関する研究や、必要な支援がなされたか	① 1年生で国語、3年生で英語を少人数の習熟度授業を実施し、受験対策として放課後等を利用して、補講も行った。 ② ドリルや補足資料、生徒に合ったプリントを使い、生徒主体の授業を行っている。パソコンの操作方法について、社会で広く採用されているソフトを用いての学習を行っており、生徒も意欲的に学習ができている。また書画カメラや電子黒板を利用することで生徒の興味関心を喚起できるように工夫している。タブレットを利用した授業を展開するため、職員研修会も2回行った。 ③ 自己表現の場として、作文を書かせる時間を持ち、校内生活体験で発表した。3、4年生は教養基礎の授業でコミュニケーション能力を伸ばすため、外部講師による出前授業を行った。 ④ 生徒理解のための情報交換を年度当初及び職員会議ごとに実施し、全職員が共通理解を持って授業や生徒対応を行った。また、地域の発達障がいサポートマネージャー・養護学校の教育相談担当教諭と連絡会を実施し、特に1年生の対応に生かした。	A A A A	① できる限り少人数授業は継続し、検定等も継続的に受験できるように整備していく。 ② ICT機器の活用を含め、教材を工夫し、更に授業方法も研究していく。 ③ 多くの生徒が発表できる工夫を行い、外部講師などと連携して更に表現力を身につけさせる機会をつくる。 ④ 情報交換会は必要に応じ、今後も実施していく。

<p>3 生徒支援体制の充実</p>	<p>① 出欠席をはじめ、生徒の日常生活を把握し、保護者とも連携して必要な対応がなされたか</p> <p>② 生徒個々の状態を把握し、カウンセリングや外部機関との連携をして早期の対応が図れたか</p> <p>③ 行事、生徒会活動、クラブ等の際に、生徒の自主性を高め、生徒に成就感や自信を待たせるような工夫がなされたか</p> <p>④ 多様な生徒に対応するための研修・研究や、日常的な支援がなされたか</p>	<p>① 毎時間の出欠は入力システムにより、欠時数の把握を行い、担任から保護者への連絡も即座に行われた。</p> <p>② 必要に応じて情報共有を行い、生徒個々の理解につとめた。通常のカounselingの他に、スクールカウンセラーには7月に1年生全員と面談してもらい、生徒の状況を把握できた。Counselingは担任にもコンサルテーションに参加してもらい、情報提供やアドバイスを直接受けることができた。出身中学校や家庭児童相談員と随時情報共有を行い、対応・支援に生かした。</p> <p>③ 文化祭では生徒アンケートに基づき、テーマ・制作内容を決め、生徒全員が参加し、「スタンドグラス風切り絵」を学年毎に制作・展示した。また、飲料の販売にも手掛け、生徒全員で店舗を運営することができた。イベント大会ではウルトラクイズおよびビンゴ大会を企画し、生徒と職員が参加し大いに盛り上がるものとなった。バドミントン部等が活発に活動した。</p> <p>④ スクールソーシャルワーカー、子ども相談室・福祉課(須坂市)、まいさぼ信州長野、障がい者支援センター・保健センター(須坂市)と連携ができています。また、11月に全生徒へのアセス調査を実施し、その結果を職員間で共有した。12月にまいさぼの支援員の方を講師に招き職員研修会を実施した。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>① 今後も保護者への連絡が即座に行えるように継続していく。</p> <p>② Counselingのコンサルテーションは可能な限り担任も同席する。</p> <p>③ 今後とも生徒の自主性を高める工夫を重ね、活気ある生徒会活動を目指していく。部活動への取り組みを呼びかけていく。</p> <p>④ 今後も職員研修の機会を設けていく。関係機関との情報交換を続けていく。</p>
<p>4 進路実現 ・キャリア教育</p>	<p>① 進路実現のための個々に応じた支援ができたか</p> <p>② ハローワーク、就業支援センター等外部の関係機関と適切に連携をはかることができたか</p>	<p>① 就職希望者には職員全員で面接練習を行い就職内定に結びついた。進学希望者にも進学先の傾向に応じて個別に学力補充や面接の指導を行っている。</p> <p>② 教養基礎の授業や就職希望者の模擬面接指導において就業支援地域アドバイザーによる出前講座を活用し、職業観の形成や就職の内定に結びつけることができた。</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>① 就業体験活動や体験入学への参加を継続して呼びかけていく。</p> <p>② 今後も関係機関との連携を密にして取り組んでいく。</p>
<p>5 人権尊重</p>	<p>① いじめについて実態を把握し、適切な対応がなされたか</p> <p>② 人権意識を高めるための取り組みができたか</p>	<p>① アンケートを実施するとともに、言動が心配される生徒には、好ましくない言葉遣いや話題について理解を促した。</p> <p>② 人権・平和学習として人権教育講師入安ムニレさんを招いて講演会を実施した。</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>① いじめの早期発見のため、今後もアンケートを継続する。</p> <p>② 今後も年間を通して取り組んでいく。</p>
<p>6 地域との連携</p>	<p>① 地域の方に本校教育活動の実態を理解していただけるよう、学校の公開等を随時行うことができたか</p> <p>② HP、学校案内等により、適切な情報提供に努めることができたか</p>	<p>① 学校公開授業は年3回計画をした。中学生・保護者対象の学校見学会を今年は11月に行った。希望があれば随時行っている。4月は保護者の参観、9月は中学生の参観があった。</p> <p>② HPは行事のあるたびに更新して常に新しい情報を提供し、行事等の写真を掲載している。学校案内も早めに作成して情報提供をした。</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>① 中学生の参観者が増加した。引き続き随時公開していく。</p> <p>② 引き続き、常にHPを最新の情報を提供できるようにしていく。</p>

7 安全安心な学校環境の維持	① 生徒が安心して学べる環境を維持するための検討がなされたか	① 4月に地震想定避難訓練、9月に地震・火災想定防火・避難訓練を実施した。	A	① 引き続き、生徒の防災意識をより高める避難訓練を2回実施する。
総合評価	<p>[成果と課題]</p> <p>多様な生徒に対して少人数制の授業や個別指導を行い、一定の成果が得られた。</p> <p>学校カウンセラー、SSW、生活支援相談員、市の保健師、外部講師などとの連携によって、進路や生活面での支援が充実できた。</p> <p>タブレットの職員研修会計画し、充実した研修会ができた。</p>		<p>[改善策・向上策]</p> <p>新しく始まった教育課程の更なる検証と単位制の検討をしていく。</p> <p>引き続き、外部の関係機関との連携を強化して、生徒支援体制を充実していく。</p> <p>生徒の学力向上のため、ICT機器やタブレットの活用を含め、授業の工夫をすすめる。</p> <p>少人数での授業の継続、外部講師の活用などに取り組んでいきたい。</p> <p>検定や資格取得が目指せるよう、環境を整備していく。</p>	